

会計別予算額

会計等区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	92億6,729万円	82億9,600万円
国民健康保険事業特別会計	36億8,730万円	34億1,638万円
財産区特別会計	11億9,684万円	3,318万円
老人保健医療事業特別会計	2億3,788万円	2億2,822万円
下水道事業特別会計	14億1,398万円	14億1,277万円
介護保険事業特別会計	15億1,293万円	14億4,616万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億3,777万円	2億3,350万円
水道事業会計	収益的収支(税込み)*1	6億1,560万円
	資本的収支(税込み)*2	7,417万円
		3億 821万円

*1 収益的収支：経営活動（水道料金）の収益とこれに対する費用
*2 資本的収支：将来の経営の安定を図るための設備投資などの費用

どう使われた私たちの税金！



▲拡幅された町道新池宮山線

平成20年度 決算160億円

平成20年度決算について、決算特別委員会を設置し、各会計の細部にわたって審査しました。質疑の一部を要約し、お伝えします。

朝来市住民 交流枠の拡大を

朝来市との小学生夏休み交流キャンプは、20名枠に応募者109名となっている。参加枠を広げるべきでは。

検討したい

朝来市の応募状況や意見などを確認して、今以上に参加者を増やせるか検討したい。

学校給食に 米粉使用のパンを

子どもたちの意向や費用面からも昼食にはパンの方が好まれていることから米粉を使ったパン導入の考えは。

子供安全教育 (CAP)は

- ①子供安全教育(CAP)の効果について。
- ②今後も継続事業とするかどうか。

学童保育事業 の運営は

学童保育事業の今後の運営のあり方についての声に対して、将来に向け、公設公営化への考え方はあるのか。

労働者の実態を 調査すべきでは

町の完全失業者は平成17年度で失業率7.5%です。町の労働者の実態を調査すべきでは。

米飯給食の 実施回数増を

地産地消や米の消費拡大にもつながる。現在は、週3回実施しているが、さらに回数を増やす考えは。

災害時の 支援対策は

災害時の備えとして、発生初期に必要な食料や水の備蓄は充分か。また更新は何年ごとに行っているのか。

業者とも相談 検討する

他市町では米飯給食普及の観点から米粉を使ったパンを出している自治体もある。今後、業者とも相談して検討する。

大変役立った

- ①小1と中1で実施し大変役立った。
- ②小学校では継続。中学校では薬物指導を含むライオンズクエスト研修を取り入れていく。

関係者と協議、 検討する

4年生以上も受け入れている現状であるが、施設拡充や、公営化について、連絡協議会と協議し、町で検討する。

実態調査の 考えはない

国、県が調査をしている。播磨町として労働者施策に対して対応策がなく、実態調査をする考えはない。

困難もあるが、 将来の課題

経費などの問題がある。今のところ出来ないが、今後検討していく。

非常食 19000食備蓄

お湯を注げば食べられるアルファ米などを備蓄し5年ごとに更新している。水は第3配水池で確保している。

高齢者世代に 対する支援は

シニアクラブは社会奉仕を目的に活動しているが、資金援助が少なく困窮している。補助金の増額は出来ないか。

状況を調査して 検討したい

シニアクラブの社会奉仕には感謝している。代表と協議して状況を調査し、どのような支援が出来るか検討したい。

播磨わくわく 講座の現状は

住民からの要請に基づき、行財政の現状や方向性について説明を行う「わくわく講座」の実施状況は。

多数の参加を 頂いている

13団体へ年間17回の開催で、合計378人が参加された。特に、環境問題の講座に関心が集まっている。

CO₂削減のため にも庁舎の光熱 水費の節約は

庁舎の光熱水費は、前年度比5%ぐらいは減額目標とすべきところ増額となっているのはなぜか。

さらに節電、 節水したい

多少電算機器の導入が増加はしているが、日々、節電、節水に努めている。さらに鋭意努力したい。